

## (4) NPO 交流サロン特別編 「藤沢の市民活動を考える！」ワークショップ

### I 概要

#### (1)実施概要

日 時：2016年8月6日（土）14:25～15:55（全体としては13:30～16:00）

会 場：藤沢商工会議所 藤沢商工会館（ミナパーク）302 会議室

参加者数：26 名

全体としては 35 名（センター2 名、推進委員 4 名、市関係者 5 名含む）

司会進行：協働コーディネーター 手塚明美

#### (2)実施方法

①協働コーディネーターの手塚より趣旨説明

②参加者をテーマ A～C の各テーブルに分ける。

③アイスブレイクトーク

自己紹介と『藤沢のみんなとまちが元気になる』ためにはどうすれば？』トーク

④グループワーク「ホンネトーク NPO のコト」

A～C の 3 テーマ（下記参照）についてグループに分かれてトーク

⑤各テーブルでの話し合い内容を発表

⑥藤沢市市民活動推進委員長による講評、協働コーディネーターよりコメント

#### (3)グループワーク「ホンネトーク NPO のコト」テーマ

A：私の知っている NPO のコト

B：挑戦し続ける NPO のコト

C：つなぐ・つながる NPO のコト

テーマ	ファシリテーター	参加	発表順
A	藤沢市市民自治推進課職員	5	5
B-1	推進センター職員	6	4
B-2	市民活動推進委員会委員	4	3
C-1	推進センター職員	6	1
C-2	市民活動推進委員会委員	4	2

## II 意見集約

### (1) テーマ毎に発言されたキーワード一覧

#### A : 私の知っている NPO のコト

##### ①どんな NPO を知っているか

- ・社会コストのために地域問題に取り組む団体
- ・藤沢のお祭りを映像化して保存している団体
- ・これって NPO 活動？と疑問に思うものもある
- ・個人で活動して社会問題解決に取り組んでいる方々もいる

##### ②悩み

- ・同じ団体内の意識レベルの違い
- ・サークルと市民活動の見分けが分からない
- ・日本の NPO と海外の NPO の違い（日本での NPO ・ボランティアのとらえ方）
- ・NPO の硬さと柔らかさ
- ・柔軟にコンパクトに動ける団体がいいのでは
- ・共通の目的や主張などを共有していくことが大事

##### ③NPO を知るために

- ・NPO 団体であるというアピール・主張が必要
- ・誰がみても問題になっているということを主張
- ・まず活動していること
- ・見える活動をする
- ・社会問題、自分たちの主張・目的・希望・ビジョンを重ねていくことが必要

#### B : 挑戦し続ける NPO のコト

##### B-1

- ・挑戦している NPO の価値
- ・市民自治が抜けてしまっている
- ・新しい事業、新しい必要性を見出してどんどん新しいことをやっていくこと
- ・事業を拡大していくことが大切
- ・つながる、広がる
- ・情報交換する中でつながりを共感
- ・職員の待遇が保証されないと専念できない
- ・世界とつながる

- ・国内では仲間が少なくても、世界という枠には多くの人がいる
- ・視点を広くみれば仲間は広がるし、必要とする人もいっぱいいる

#### B-2

- ・役所のサポートが弱い
- ・活動に対する理解をしてもらうのが難しい
- ・資金のサポートが弱い
- ・外への情報の発信
- ・みんなで取り組めることをやり、理解を得る
- ・固い活動ばかりでなく、ゆるい活動も必要
- ・活動をもっとしやすく
- ・イベントやプロジェクトとかに挑戦
- ・しっかり目標を持って挑戦していく

#### **C：つなぐ・つながる NPO のコト**

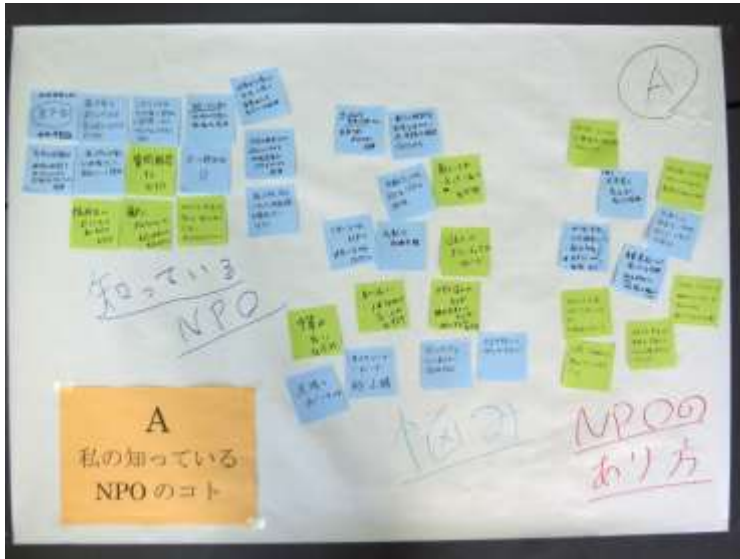
##### C-1

- ・他の NPO とのつながりが少ない
- ・自分から動いて会いに行く
- ・藤沢市と連携したいけどなかなかできない
- ・市の集権的体質
- ・個人で活動する人がなかなか少ない
- ・人生をエンジョイ
- ・自分が楽しむ姿を見せることで周りの人も参加してもらう

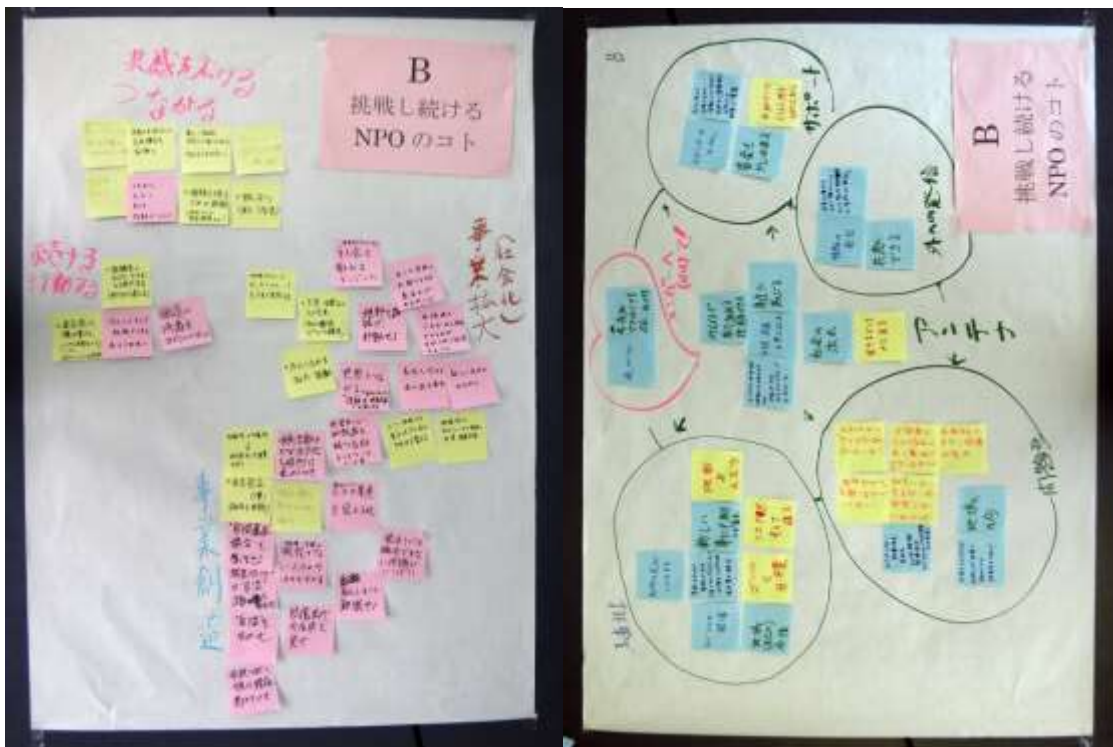
##### C-2

- ・NPO 同士、個人と NPO、学校と企業と NPO のつながり、行政と NPO
- ・市の枠を超えてのつながり
- ・核になるのは情報の「発信・収集・共有」だと思う
- ・NPO 支援センターの役割は大きい
- ・NPO 支援センターで情報を発信・収集・共有ができる
- ・県のイベントで、様々なセクターと知り合えるようなものもある
- ・学校や企業の間もつながりも大事だが不足している

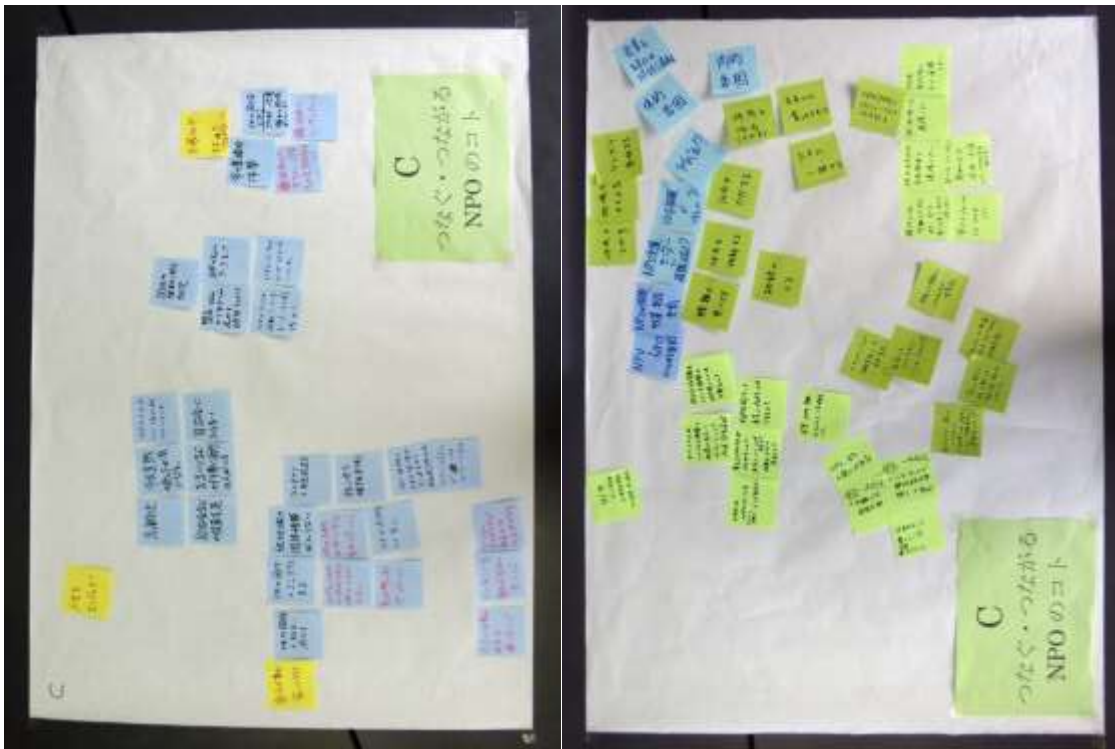
<各テーブル意見の集計結果（模造紙画像及び付箋意見）>



A : 私の知っている NPO のコト



B : 挑戦し続ける NPO のコト(左 : B-1、右 : B-2)



C : つなぐ・つながる NPO のコト(左 : C-1、右 : C-2)

## A：私の知っている NPO のコト

知っている NPO	悩み
地域課題に対し地域資産化をして活用	サークルと市民活動との見分けが分からない団体
藤沢宿を盛り上げるため昔の遊びを伝える会がある	市の補助金制度を受けたいが、申請が複雑であきらめた
藤沢市のお祭りを映像化して保存している団体	新しい人が入ってこない
質問解答する NPO	高齢化による新たな人材の確保
犬の殺処分 0	高齢化 後継者難
中高生のボランティアのあっせん NPO	日本における NPO 世界における NPO
藤沢にジャグリングを広めようとする NPO	日本人のボランティアのイメージ
小学 5・6 年生を対象に夏休みの期間いろんなプログラムを行う NPO	知らない人がほとんどこないことがなやみ
社会コストの為に地域の問題に取り組む団体	予算がないなやみ
主婦が主導して年間 3 億の事業収入を上げている団体	サイクリングロード砂山積
自分の問題が地域の問題でもあったことから活動化されている団体	意識の高さのレベル
生活の便利さから埋もれていくものを地域産業化させようとする団体	NPO 法人にするか株式会社にするか他にするか
NPO は住民活動の一部であっても良い	災害分野での NPO が少ない！
藤沢駅周辺にあった映画館を復活したい NPO	ボランティアをもっと集めたい団体がある
NPO のあり方	
NPO はコンパクトで動ける組織であるべきだ	収入を目的としている又は想いに偏っている
定年者の巻込方を考える団体	NPO はできるだけボランティアであるべきだ
NPO はできるだけしかくにとらわれない組織であるべきだ	NPO は共通する目的を共有する人々に提供されるべきだ
団体として硬直化・排他的でよいと考える団体がある	NPO は公益法人であるべきだ（利益追求しない）
地球市民－日本国民－藤沢市民－NPO-家族・友人	NPO は町づくりに参加できるはずだ
事業資金ついて困っている団体	

## B-1：挑戦し続ける NPO のコト

共感を広げる・つながる	続ける・行動する
硬直しないために新しい気づきを得られる機会、他者との交流・協調	評論家にならず、できることを実行する（歩きながら考える）
新しい技術を研究して取り入れる（タダならなお良い）	達成感の積み重ね（小さな成果を一つ一つ）。モチベーションを持続
つながる・広がる・知る・課題がふえる	今にとどまらず挑戦することをあきらめない
活動地域の人と交流機会を多く持つ	職員の待遇を平均レベルに
協力者の広がり	<b>事業拡大（社会化）</b>
中心メンバーの広がり・思いの共有・人数・世代	小さい規模でも集まってイベント化すれば人は集まる
理解を得るための発信力（仲間づくり・資金確保など）	他地域の似たテーマの団体と連携・情報交換
話し合う（聞く・話す）	新しい気づき生まれる
<b>事業創造</b>	変化を恐れず前に進む姿勢
収益性×公益性→両方見すえた事業を行う	世界とつながる。国内では小さくても課題は世界共通の可能性
自主自立〔律〕（依存を排除）	外とつながる、協力・協働
自治基本・条令を復活せよ	地域のリソース(人・モノ)をうまく活用する
推進センターは"自治"活動を取り上げよ	大学・企業などとの交流（知・パワーの獲得）
自治を生かせ	消費者だからできる社会を動かすエンジンに
市政に対し市民は積極的に参加すべき	視野を広げ、行動せよ
団塊世代の活用を急げ	地域内でつながれる団体がふえれば目的に向かう距離が短くなる
お手済・生産の現役ではない人々の力・活力を生かす	近くの団体と共働するのが基本だが他分野にも
老人よ、もっと勉強せよ	
営利では解決できない問題がいっぱい	
見えにくい人々の善意が見える化	
非営利の事業を続けていくための収益性	
市民活動のビジネス化を役所は進めるべき	
非営利で低待遇を補う互助ネットワークが必要	

## B-2：挑戦し続ける NPO のコト

問題点	挑戦
地域の今	イベントの開催
外国人のヘルプデスク 外国人が非常に住みにくい 改善するために！	地域（まちの）今後
リビングバリュー教育法を広める。いじめ問題・登校拒否・フリースクール(教育機関として認定)	学校・スクールの英語の先生（ネイティブスピーカー）の質を上げるための先生等の紹介
皆が親しみやすい市役所になってもらいたい	批判を受けることもやる
使用する人が使いやすくしてほしい	ゴールと目標
あまり束縛せずに見守る姿勢	リスクも考えて進む
市役所のふとんだから外へ持ち出してはいけな いとか	新しい事にも取りくむ勇気
市民がやりやすい企画を作る	挑戦≠ムボウ
<b>外への発信</b>	<b>サポート</b>
情報の発信	スポンサーも大切に
共感できる	資金も少しはある
会員を増やすのが難しい。もっと市でも積極的に 宣伝して欲しい。	手助けしてもらえる所を増やしておく
	志を持って社会のために活動しているのにサ ポート（金銭的）がない。認定=資金
<b>メンバーへ向けて</b>	<b>アンテナ</b>
遊び心	オリンピック、地球、日本の英語力を強化す るため、中高（大）生のボランティアグルー プをプロデュース
今参加できなくても OK。待ってます。	子供・若者を巻き込む
	社会の流れ
	身近に感じる



### C-1：つなぐ・つながる NPO のコト

人生をエンジョイ！	同じ目的の NPO 団体が多くあるか まとまらないのか
高齢化	NPO 同志がつながることとは
自治会などの役員不足	似ている考えの人と会いたい！
おまつりなどの行事に反対の人がいる	ハーモニーを知ってもらいたい！
市民意識の低下が気になる	たくさんアイディアがあるからヘルプできる
NPO のリーダーの心構えがあるのでしょうか	団体の活動の拡大と継続
自治会に入らない	自分の団体・個人のつながりが広がる（情報アップ）
自分が動く 会いに行く	NPO としての活動とコーディネーターとの関係は？
他の団体を知る調べる	NPO でなければならぬのか
他の団体とコンタクトする	自分のネットワークを！！
ふだん忙しくあまり他の NPO とつながってない	手塚さんや林様とつながること
ネットワーキングしたい	市の週権的体質
NPO 各団体との交わり	藤沢市がオファーしているものを知らない
他の NPO のやり方を知りたい	藤沢市とリンクしたい
他地域の団体情報が入らない	他の団体とは？
コンタクトを継続する	行政・企業種々の団体グループ
話し合う情報交換	同じ目的の NPO 団体が多くあるか まとまらないのか

## C-2 : つなく・つながる NPO のコト

企業・NPO・学校どうしたらつながれるの？	NPO 支援センターに情報がある？
NPO・まち→関心がある	どんな情報が欲しい？
学生→内輪での情報交換 きっかけ！	仲間を理解する
学生→インターネットで興味のある分野検索→参加 きっかけ！	自分を PR する
将来のヒント楽しい！！不安 スケジュール	ライバル？
しょうがい者とのつながり（視覚しょうがい者等への情報発信不足では）	仲間を探す
市の枠を飛び越えた（協調、協力）つながり	地域をささえる
センターと地域 センターとのつながり（情報共有）	少しだけ勉強する
個人個人とのつながりの必要性	たまに一杯やる
出会いとコミュニケーション（コミ、つながり？）	外的要因
つながり！とは情報共有か？情報発信受信	内的要因
NPO は他の NPO のことをどこで知るの？	企業と NPO のパートナーシップ mtg
異なる NPO 動詞がつながることで、本当にいいことがあるの？成果はコストに見合うの？	仲間を作る（探す）
相談に乗る	お金に責任をもつ
同じような活動をしている団体は、地域にいくつもあるの？	NPO と他人のつながりの必要性
ひとりの人がいくつもの団体の代表になるってどういうこと？メリットデメリットは？	藤沢には引っ越してきたので、もっと多くの方と知り合いたい
NPO や NPO とつながるために必要なこと 内/外	異なるジャンルともコラボしたい
NPO 同士って本当につながることができるの？	他の NPO や市民団体と連携したい
NPO と NPO がつながる要因	色々なイベントに参加したり、企画・主催してつながりを作りたい
NPO の情報収集・発信共有	他地域とも連携したい